

田辺周辺広域市町村圏組合一般廃棄物処理施設 第3回用地選定検討委員会  
会議録（概要版）

【日時】 令和7年1月23日（木） 14時00分～15時30分

【場所】 紀南広域廃棄物最終処分場 管理棟2階 会議室

【出席者】

（委員）

学識経験者 吉田登、櫻井祥之、八鍬浩、土永知子

住民代表 野村悠一郎、田中晴好、來栖末美、田中利典

（オブザーバー）

構成市町廃棄物担当課長 井澗伴好、前田善伸、榎本崇広、三浦誠、南典和

（事務局）

田辺周辺広域市町村圏組合 清水局長、古久保主任、孫本主査

（技術支援業務受託者）

パシフィックコンサルタンツ株式会社 4人

【欠席者】

住民代表 瀧本美奈

【内容】

1. 開会
2. 委員会スケジュールについて
3. 1次選定から3次選定までの考え方について
4. 第4回委員会の開催方法について
5. 連絡事項
6. 閉会

## 1. 開会

- ・事務局より開会の挨拶を行った。
- ・吉田委員長より挨拶。

## 2. 委員会スケジュールについて

- 事務局 : パブリックコメントの実施時期については、当初は令和8年2月を想定していたが答申後では住民意見の反映が難しいため、令和7年8月に変更した。
- 吉田委員長 : 他事例においても、パブリックコメントをこの時期に実施されているか。
- 事務局 : 他事例を確認したが、答申後にパブリックコメントを実施されているケースはほとんど見当たらなかった。

## 3. 1次選定から3次選定までの考え方について

- 事務局 : 1次選定から3次選定までの考え方、1次選定及び2次選定項目について、事務局の案を説明した。
- 八鍬委員 : 2次選定 ③洪水浸水想定区域について、1級河川の近傍を建設地とし、浸水対策として盛土による嵩上げをしている事例がある。洪水浸水想定区域については3次選定における評価項目とすることも考えられる。
- 吉田委員長 : 用地選定における評価項目の考え方は事例により異なると考える。1次選定・2次選定の絞り込みにより残された区域数が過少になり、除外対象を再検討するようであれば、一部の評価項目を3次選定の評価項目に変更することも考えられる。
- 田中晴委員 : 1次選定・2次選定の除外により、2.5haを確保可能な用地は残る見込みであるか。
- 事務局 : 現時点では1次選定・2次選定の結果は確認できておらず、絞り込みによる残存区域は把握できていない。また、委員会を開催可能な回数は限られており、再度振り出しに戻しての検討は困難と考えている。
- 吉田委員長 : 洪水浸水はどの程度の被害想定をされているか。
- 事務局 : 想定最大規模で検討している。
- 櫻井委員 : 計画規模と想定最大規模を比較した上で、どの程度のリスクを許容できるか検討されてはどうか。また、P.1 用地の選定方針を踏まえると洪水浸水は2次選定に該当するが、3次選定の評価項目とすることも考えられる。
- 事務局 : 委員の意見を踏まえて、事務局としては、洪水浸水想定区域については、安全性をきちんと考慮したうえで3次選定における評価項目としてもよいと考える。
- 吉田委員長 : 洪水浸水想定区域は、3次選定における評価項目とする。なお、圏域においては豪雨災害等による洪水浸水被害が想定される。適切な評価をしていただきたい。
- 委員一同 : 異議なし。
- 八鍬委員 : 2次選定 ⑩公共的施設における除外対象の半径300mはどのように設定されたのか。
- 事務局 : 他事例や、現在は廃止されているが建設省の規定を参考にしている。
- 八鍬委員 : 適当な範囲について知見を有しているわけではないため、事務局で検討いただければ

ばと考える。

吉田委員長 : 2次選定の評価項目について、①～⑤は区域が続き、⑥都市公園のあと、⑦～⑩に再び区域がある。パブリックコメントにおける確認のしやすさ等を考慮すると、都市公園の記載順は改めてはどうか。

櫻井委員 : 公共的施設・墓地等の次でよいと考える。

吉田委員長 : 都市公園の周辺は除外対象になるか。

事務局 : 都市公園は公園敷地のみを除外対象とする。

吉田委員長 : 河川保全区域は、P.3の概念図に記載されている区画(20m、40m)に定められているのか。

事務局 : 概念図はあくまで例示であり、実際は河川ごとに規定されている。

吉田委員長 : 1次選定 ⑥自然環境保全地域は、特別地域のみを除外対象とするのか。

事務局 : 自然環境保全地域は全体を対象とする。

櫻井委員 : 1次選定 ⑩用途地域について、準工業地域においても工場以外の建物が建設可能であり、建設物の立地状況によっては廃棄物処理施設の建設が不適な可能性がある。3次選定で評価項目にする等、準工業地域についても検討いただきたい。

事務局 : 3次選定において評価項目とする。

吉田委員長 : 2次選定 ⑬最終処分場跡地について、説明文に「廃棄物の発酵や分解が進行し」とあるが、管理型最終処分場を対象に想定されているのか。

八鍬委員 : 現在も生ごみ等が埋め立てられていると誤解を招く可能性があるため、除外理由の記載内容は見直すほうがよい。(遮水シートが敷設されていることや構造物の建設は困難であること等。)

吉田委員長 : 委員の意見を踏まえて評価項目等を修正し、事務局にご対応いただきたい。

#### 4. 第4回委員会の開催方法について

事務局 : 第4回委員会の議題は1次選定の結果を予定している。用地が少数に絞られている段階ではないため、公開を予定している。

田中利委員 : 公開することで、どこかの地域から立候補があればどうするのか。

事務局 : 本用地選定委員会では地図上での絞り込みを行うため、立候補は受け付けない。

吉田委員長 : 立候補されたとしても、用地選定のプロセスに含めないという理解でよいか。

事務局 : 3次選定において用地選定の容易性を考慮する場合は、立候補がされることで評価が高くなる可能性がある。

吉田委員長 : 第4回委員会は公開とする。

委員一同 : 異議なし。

## 5. 連絡事項

来栖委員 : 次回からは、委員会資料は事前に配布いただきたい。

## 6. 閉会

以上